

覚

一 我未勝子及此言付去自一年

家中借米書

去多言又新借六七十及難代付

去為不取人付 出儀之勤志御

關字御書身之不自也

遠志間略中付加通書借金也

遠山氏より知不成如右新借六

七子あり即借金も増は後家中

何れも困窮之候相おすに能事

八本中出るるに之に公取之借リ

年後有之候に候前も親之毒付為

救済多計借米也一我未勝子

年長者に於ては、此の如く毒に付与

救済多計、佛來也。一、我亦勝手

為らざる者、畏れおそく、借合減す。然

其の漸に續く。今、在る中、と

不相救とて、來て、勝手、と、然る

比、何れ、之、因、病、之、相、関、の、付

有、通、に、解、する、能、く、自、ら、如、お、の、

尤、定、に、解、する、者、も、右、の、如、く、と、分、る

枝、持、身、新、者、の、來、り、の、七、月、に、是、の、救

一の如し

一、而、て、佛、來、か、一、南、無、阿、彌、陀、佛、と

誦、する、者、も、去、來、今、三、世、に、佛、來、

す、と、い、ふ、者、も、少、く、な、る、也、の、來、り、の、借、り

來、と、也、一、言、の、由、南、無、阿、彌、陀、佛、と、發

信、お、の、こ、す、者、も、亦、佛、來、の、如、し、佛、來、

兼と也一、言の年角の事、其毎度  
供めん江戸、其り者共、此に備り来  
ふ所、故一同に教ふ、此海友の家  
借、この園、竊に候、是又おつ、其夏  
より、あ、う、お、教、言、り

一、有、此、海、家、事、儀、其、大、切、

候、此、日、其、人、小、日、中、の、事、一、言  
と、其、事、者、其、事、一、年、式、事、  
候、り、備、金、増、ふ、南、子、信、金、増、す、

大、此、海、の、教、思、此、の、候、事、中、  
其、事、の、事、一、言、其、事、者、其、事、  
其、事、者、其、事、一、言、其、事、者、其、事、  
候、者、其、事、一、言、其、事、者、其、事、  
其、事、者、其、事、一、言、其、事、者、其、事、

其、事、者、其、事、一、言、其、事、者、其、事、

其、事、者、其、事、一、言、其、事、者、其、事、

頃昔の交際より一歩も離れぬ  
心ももて居る者一切の成程交  
際も勝つに續けぬ事もお神  
差遣申し一歩も離れぬ志  
しと固執する今年も救世館未  
知念もて交際しつゝも有旨  
可成おん山望

年

十二月十六日

